

■土方久元 志士、政治家。七卿落に従い薩長連合幹旋、記録「回天実紀」を遺し、維新後は宮中保守勢力の中心に。

ひじかたひさもと

天保大飢饉始1833＝ 土佐国土佐郡秦泉寺村(高知市)で、土佐藩郷士土方久用・時子の長男に生まれる。

大塩平八郎乱1837＝ 4歳：

天保改革弾圧1842＝ 9歳：

阿部正弘首座1845＝12歳：

尊徳報徳論・1851＝18歳：

ペリー来航・1853＝20歳：

蕃書調所・・・1857＝24歳：江戸へ遊学し、大橋訥庵らに学び尊王思想の影響を受け、

帰藩後、

桜田門外変・1860＝27歳：

遣欧使節・・・1861＝28歳：\*武市瑞山の誓書盟約に加わり、以後、土佐勤王党員として尊攘運動に挺身、

8月18日政変 1863＝30歳：\*藩命により上京、諸藩の志士らと交遊。三条実美の信頼を得て徴士学習院出仕を命ぜられたが、<八月十八日の政変>で、三条ら急進派公家が朝廷から追放されると(七卿落ち)、これに随行して長州藩に下った。日記「回天実紀」をつけ始め、

禁門の変・・・1864＝31歳：長州藩が幕府の征討を受けたため、

薩摩藩士密航1865＝32歳：三条らとともに福岡藩(太宰府)に移ったが、この間、三条の側近にあつて国事周旋に奔走、

薩長同盟・・・1866＝33歳：中岡慎太郎らとともに薩長連合の成立に尽力した。

大政奉還・・・1867＝34歳：\*新政府の成立後これに出仕し、「回天実紀」を終わる。

明治維新・・・1868＝35歳：東京府判事・鎮将府弁事として東京の民政にあたった後、

戊辰戦争終・1869＝36歳：

大史・侍補・宮内少輔・内務大輔・内閣書記官長・参事院議員・宮中顧問官・元老院議員などを歴任。

明治6年政変 1873＝40歳：

大久保暗殺・1878＝45歳：

明治14年政変1881＝48歳：

秩父事件・・・1884＝51歳：子爵を授けられ、

内閣発足・・・1885＝52歳：内閣制度発足に際して第1次伊藤内閣の農商務大臣となり、ついで伊藤の後を受けて宮内大臣に転じた。

国民之友始・1887＝54歳：

初の対等条約1888＝55歳：枢密顧問官を兼任して憲法草案の審議に加わり、佐佐木高行・元田永孚らとともに皇権伸張(天皇親政)を主唱し、政府・宮中の保守派勢力の中心と目される。

帝国憲法発布1889＝56歳：憲法制定後は、嘉仁親王(後の大正天皇)立太子式から、

帝国議会始・1890＝57歳：帝国議会発足、

日清戦争始・1894＝61歳：日清戦争まで、明治天皇を支えるべく取り仕切り、

日清戦争終・1895＝62歳：伯爵に陞叙。

白馬会・・・1896＝63歳：

子規句歌革新1898＝65歳：\*宮内大臣を辞任、

晩年は帝室制度取調係総裁心得、皇典講究所長などを経た後、

日露戦争終・1905＝72歳：

国学院大学長・東京女学館長など教育関係の任にあつて国民教化に努力し、

明治天皇没・1912＝79歳：

第一次大戦始1914＝81歳：臨時帝室編修局総裁に就任して「明治天皇紀」の編纂に力を尽くし、

本格政党内閣1918＝85歳：没した。